

① 人口

C0101 人口規模

1) 区域区分別人口総数・増加数

塩尻市の行政区域の人口推移をみると、平成17年の68,346人をピークに、平成27年までは微減が続き67,135人となったが、令和2年には微増して67,241人となった。平成12年から令和2年までの20年間の増減は506人減、0.7%の減少となっている。

市街化区域の人口は一貫して増加し続けている一方、市街化調整区域では平成22年までは横ばい傾向であったが、令和2年までの10年間で2,137人減、11.5%の減少となっている。

また、平成12年から令和2年の20年間ににおける人口増減は、市街化区域では11.7%増(4,234人増)、市街化調整区域では9.7%減(1,781人減)となっており、市街地における人口増と郊外における人口減が顕著になっている。

表1-1 人口総数・増加数

	H12年	H12～H17年の増減		H17年	H17～H22年の増減		H22年	H22～H27年の増減		H27年	H27～R2年の増減		R2年
	人口 人	人口 人	率 %	人口 人	人口 人	率 %	人口 人	人口 人	率 %	人口 人	人口 人	率 %	人口 人
行政区域	67,747	599	0.9	68,346	△676	△1.0	67,670	△535	△0.8	67,135	106	0.2	67,241
都市計画区域	54,542	1,382	2.5	55,924	417	0.7	56,341	152	0.3	56,493	617	1.1	57,110
市街化区域	36,237	1,176	3.2	37,413	267	0.7	37,680	1,175	3.1	38,855	1,616	4.2	40,471
うちDID区域※	31,405	1,659	5.3	33,064	1,218	3.7	34,282	638	1.9	34,920	3,222	9.2	38,142
市街化調整区域	18,305	206	1.1	18,511	150	0.8	18,661	△1,023	△5.5	17,638	△1,114	△6.3	16,524
うちDID区域※	1,119	△97	△8.7	1,022	40	3.9	1,062	204	19.2	1,266	△915	△72.3	351
居住誘導区域※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25,682
都市機能誘導区域※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,862

注) 建物用途別現況の住宅数で按分比を決定し人口を配分している

資料：前回基礎調査、令和2年国勢調査

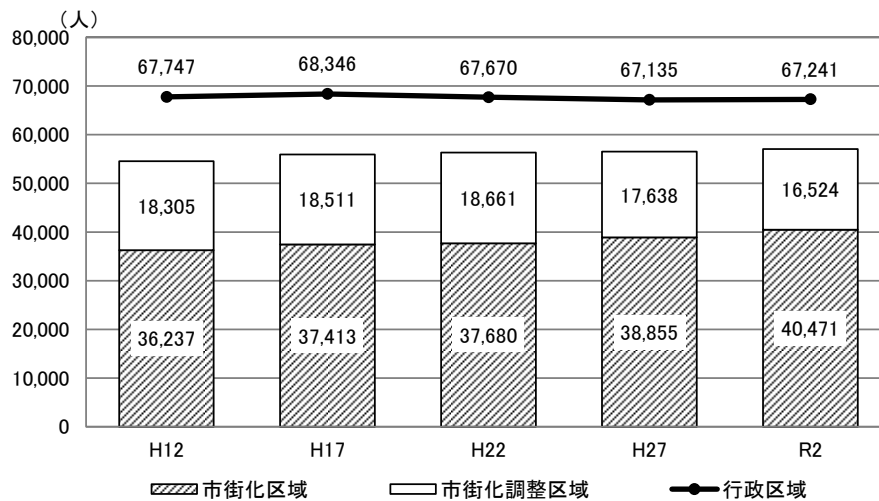


図1-1 人口総数・増加数

2) 年齢・性別人口

行政区域における令和2年の5歳階級別人口をみると、男女とも45～49歳、70～74歳の人口が多くなっており、これは第1次ベビーブーム及び第2次ベビーブームに該当する世代である。男女での比較をすると59歳までの年齢層では男性が女性を上回っているが、60歳以降の年齢層では女性が男性を上回っている。平成12年と令和2年を比較すると、つりがね型から壺型に移行していることがわかる。

年齢3区分別人口でみると、年少人口と生産年齢人口の割合は平成12年から令和2年まで一貫して減少し続け、老年人口の割合は増加し続けている。平成12年から令和2年までの20年間で年少人口が1,827人減(17.9%減)となっており、老年人口が6,542人増(51.9%増)となっている。構成比でみると、年少人口が15.0%から12.4%、老年人口が18.6%から28.5%と変化していることから、塩尻市全体で少子高齢化が進行していることがうかがえる。

表1-2 年齢・性別人口

	平成12年			平成17年			平成22年			平成27年			令和2年		
	総数 人	男 人	女 人	総数 人	男 人	女 人	総数 人	男 人	女 人	総数 人	男 人	女 人	総数 人	男 人	女 人
0～4	3,471	1,774	1,697	3,280	1,655	1,625	2,941	1,496	1,445	2,679	1,355	1,324	2,596	1,368	1,228
5～9	3,298	1,677	1,621	3,433	1,764	1,669	3,131	1,582	1,549	2,883	1,468	1,415	2,759	1,411	1,348
10～14	3,418	1,787	1,631	3,340	1,718	1,622	3,397	1,749	1,648	3,130	1,573	1,557	3,005	1,538	1,467
年少人口	10,187	5,238	4,949	10,053	5,137	4,916	9,469	4,827	4,642	8,692	4,396	4,296	8,360	4,317	4,043
15～19	3,503	1,814	1,689	3,135	1,659	1,476	3,037	1,573	1,464	3,169	1,642	1,527	2,948	1,502	1,446
20～24	4,389	2,302	2,087	3,512	1,849	1,663	2,826	1,484	1,342	2,822	1,459	1,363	2,792	1,477	1,315
25～29	5,714	3,047	2,667	4,958	2,691	2,267	4,169	2,239	1,930	3,497	1,943	1,554	3,716	2,068	1,648
30～34	4,863	2,540	2,323	5,523	2,873	2,650	4,631	2,482	2,149	3,973	2,073	1,900	3,528	1,895	1,633
35～39	4,272	2,234	2,038	4,885	2,508	2,377	5,230	2,664	2,566	4,541	2,430	2,111	3,905	1,993	1,912
40～44	4,156	2,126	2,030	4,208	2,179	2,029	4,877	2,495	2,382	5,189	2,681	2,508	4,572	2,423	2,149
45～49	4,529	2,282	2,247	3,991	2,024	1,967	4,166	2,167	1,999	4,791	2,453	2,338	5,199	2,699	2,500
50～54	5,206	2,608	2,598	4,428	2,201	2,227	3,901	1,995	1,906	4,098	2,123	1,975	4,739	2,424	2,315
55～59	4,463	2,243	2,220	5,119	2,549	2,570	4,345	2,155	2,190	3,824	1,924	1,900	3,953	2,027	1,926
60～64	3,852	1,915	1,937	4,389	2,200	2,189	4,979	2,446	2,533	4,271	2,127	2,144	3,802	1,902	1,900
生産年齢人口	44,947	23,111	21,836	44,148	22,733	21,415	42,161	21,700	20,461	40,175	20,855	19,320	39,154	20,410	18,744
65～69	3,628	1,763	1,865	3,715	1,832	1,883	4,227	2,074	2,153	4,837	2,368	2,469	4,178	2,076	2,102
70～74	3,345	1,522	1,823	3,423	1,610	1,813	3,533	1,723	1,810	4,024	1,935	2,089	4,652	2,222	2,430
75～79	2,579	1,019	1,560	3,021	1,323	1,698	3,096	1,400	1,696	3,323	1,559	1,764	3,753	1,758	1,995
80～84	1,645	567	1,078	2,161	787	1,374	2,573	1,041	1,532	2,727	1,146	1,581	2,816	1,254	1,562
85～89	969	306	663	1,151	325	826	1,634	520	1,114	1,976	714	1,262	2,126	802	1,324
90～	447	110	337	674	162	512	930	213	717	1,316	330	986	1,630	442	1,188
老年人口	12,613	5,287	7,326	14,145	6,039	8,106	15,993	6,971	9,022	18,203	8,052	10,151	19,155	8,554	10,601
年齢不詳	-	-	-	-	-	-	47	35	12	65	44	21	572	339	233
総計	67,747	33,636	34,111	68,346	33,909	34,437	67,670	33,533	34,137	67,135	33,347	33,788	67,241	33,620	33,621

資料：平成12, 17, 22, 27年、令和2年国勢調査 男女別・年齢階級(5歳階級)別人口

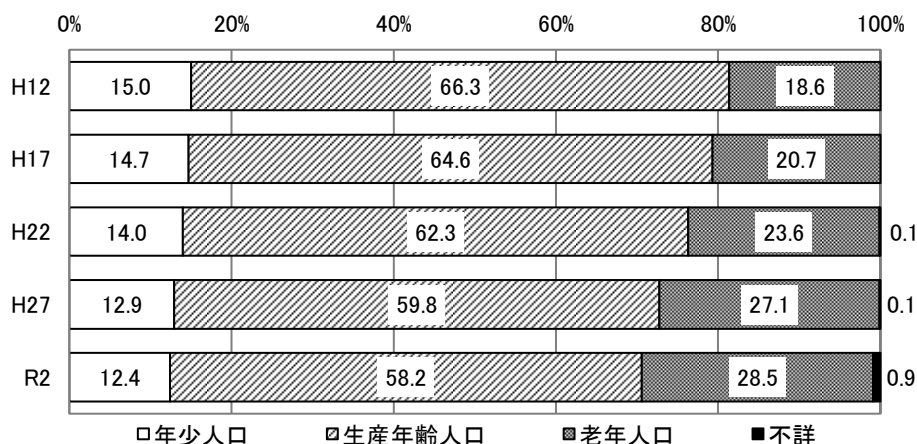


図1-2 年齢3区分別人口構成比

平成 12 年

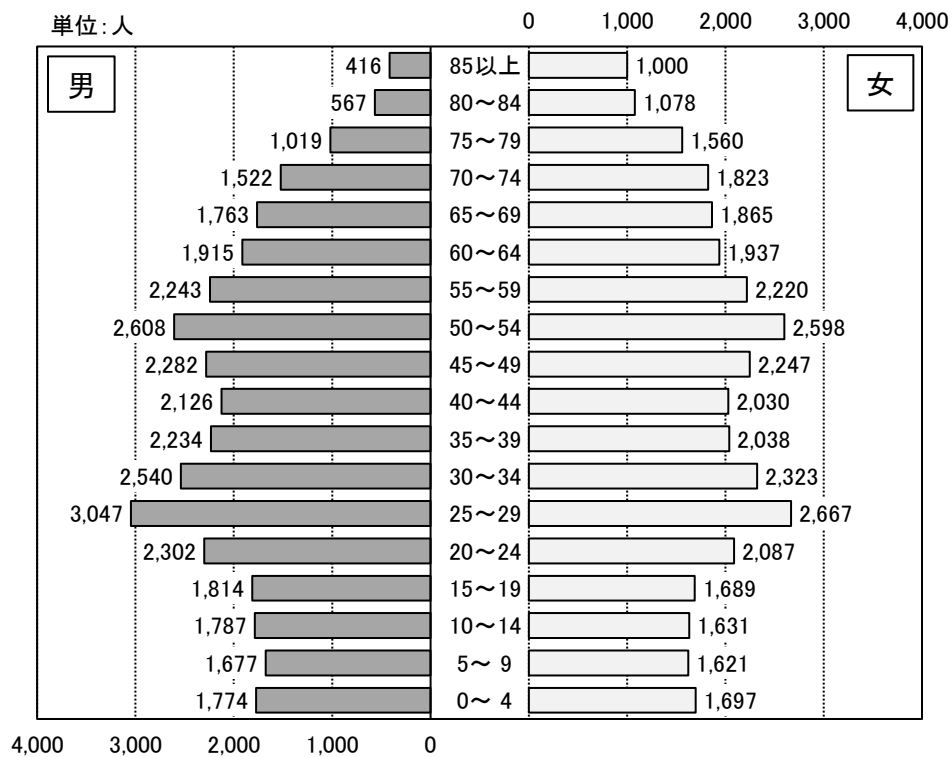


図 1-3 年齢・性別人口 (平成 12 年)

令和 2 年

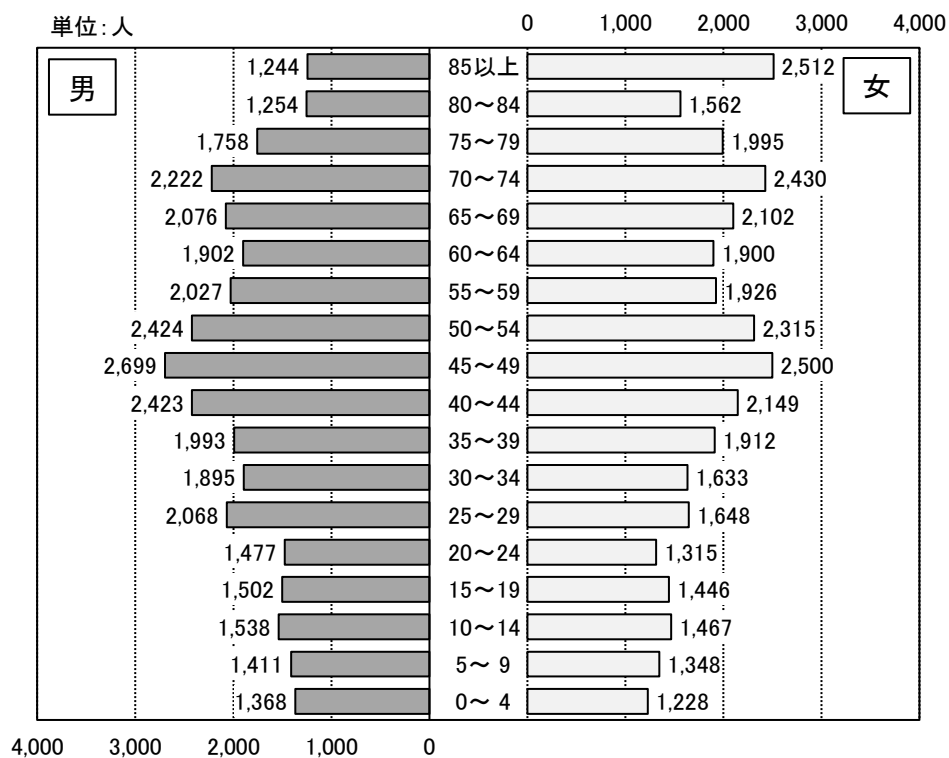


図 1-4 年齢・性別人口 (令和 2 年)

C0102 D I D

令和2年における人口集中地区の面積及び人口は、921ha、38,976人となっている。推移をみると、人口、面積ともに増加を続け、令和2年の人口密度は42.3人/haとなっている。

また、令和2年の人口集中地区の区域は、平成2年のものに比べ、吉田地区では北側に、広丘地区では北東側に大きく拡大していることがわかる。

表1-3 DID

年度	DID地区面積 ha	DID地区人口 人	人口密度 人/ha
平成2年	670	23,940	35.7
平成7年	700	27,776	39.7
平成12年	751	32,524	43.3
平成17年	795	34,086	42.9
平成22年	825	35,344	42.8
平成27年	831	36,186	43.5
令和2年	921	38,976	42.3

資料：平成2, 7, 12, 17, 22, 27年、令和2年国勢調査、DID地区境界データ

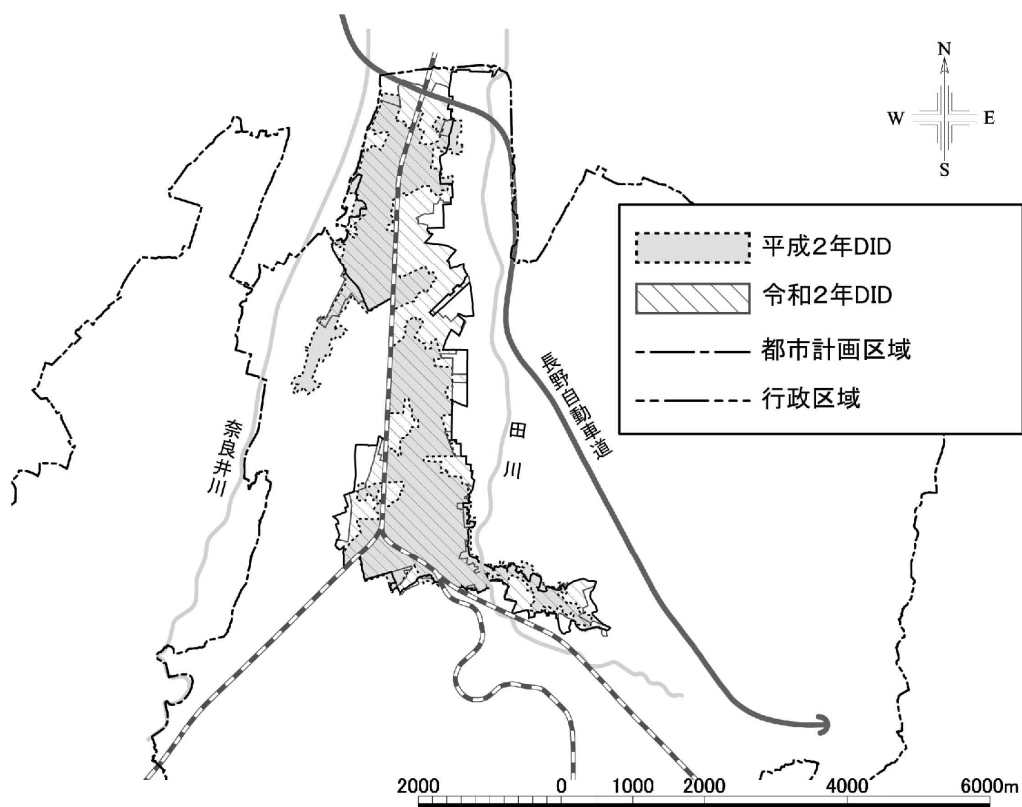


図1-5 平成2年及び令和2年の人口集中地区

C0103 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所による塩尻市の推計人口は減少が続き、令和 27（2045）年には 57,549 人になると推計されている。

年齢 3 区分別人口でみると、平成 27 年から令和 27（2045）年の増減は年少人口が 2,751 人減（31.6%減）、生産年齢人口が 11,013 人減（27.4%減）、老年人口が 4,243 人増（23.3%増）となっている。構成比でみると年少人口が 12.9%から 10.3%、生産年齢人口が 59.8%から 50.7%、老年人口が 27.1%から 39.0%に変化すると推計されている。

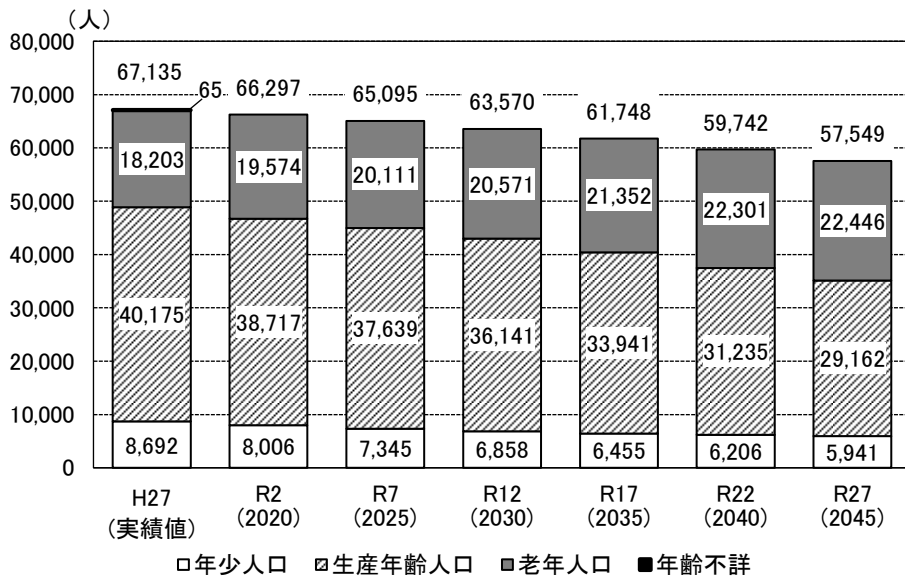


図 1-6 将来人口の推移

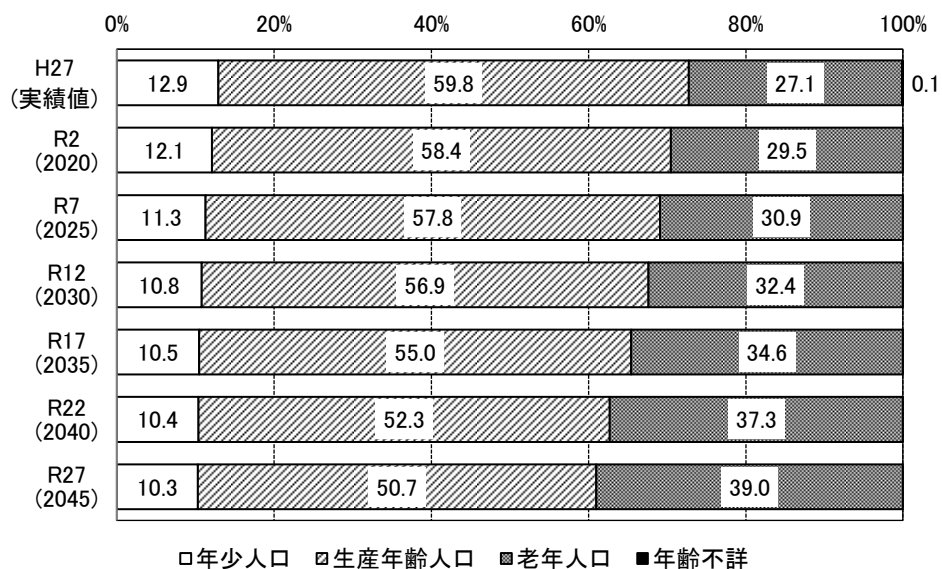


図 1-7 将来人口の年齢 3 区分別構成比

表 1-4 将来人口

		平成27年(2015年)			令和2年(2020年)			令和7年(2025年)			令和12年(2030年)		
		総数 人	男 人	女 人	総数 人	男 人	女 人	総数 人	男 人	女 人	総数 人	男 人	女 人
総数		67,135	33,347	33,788	66,297	33,015	33,282	65,095	32,491	32,604	63,570	31,769	31,801
年齢階級別	0～4	2,679	1,355	1,324	2,505	1,284	1,221	2,268	1,163	1,105	2,175	1,115	1,060
	5～9	2,883	1,468	1,415	2,622	1,326	1,296	2,457	1,258	1,199	2,228	1,141	1,087
	10～14	3,130	1,573	1,557	2,879	1,457	1,422	2,620	1,317	1,303	2,455	1,249	1,206
	15～19	3,169	1,642	1,527	2,895	1,460	1,435	2,660	1,350	1,310	2,417	1,218	1,199
	20～24	2,822	1,459	1,363	2,980	1,544	1,436	2,746	1,399	1,347	2,527	1,287	1,240
	25～29	3,497	1,943	1,554	3,511	1,944	1,567	3,677	2,042	1,635	3,422	1,884	1,538
	30～34	3,973	2,073	1,900	3,360	1,820	1,540	3,381	1,818	1,563	3,535	1,904	1,631
	35～39	4,541	2,430	2,111	3,888	2,029	1,859	3,299	1,785	1,514	3,332	1,791	1,541
	40～44	5,189	2,681	2,508	4,492	2,427	2,065	3,851	2,034	1,817	3,278	1,795	1,483
	45～49	4,791	2,453	2,338	5,106	2,644	2,462	4,419	2,388	2,031	3,788	2,002	1,786
	50～54	4,098	2,123	1,975	4,709	2,405	2,304	5,032	2,599	2,433	4,349	2,337	2,012
	55～59	3,824	1,924	1,900	4,020	2,052	1,968	4,615	2,321	2,294	4,945	2,514	2,431
	60～64	4,271	2,127	2,144	3,756	1,897	1,859	3,959	2,029	1,930	4,548	2,299	2,249
	65～69	4,837	2,368	2,469	4,153	2,062	2,091	3,658	1,843	1,815	3,863	1,977	1,886
	70～74	4,024	1,935	2,089	4,636	2,232	2,404	3,979	1,943	2,036	3,513	1,742	1,771
	75～79	3,323	1,559	1,764	3,808	1,765	2,043	4,410	2,051	2,359	3,789	1,789	2,000
	80～84	2,727	1,146	1,581	2,977	1,304	1,673	3,435	1,490	1,945	4,024	1,759	2,265
	85～89	1,976	714	1,262	2,162	830	1,332	2,385	960	1,425	2,789	1,112	1,677
90歳以上	1,316	330	986	1,838	533	1,305	2,244	701	1,543	2,593	854	1,739	
年齢不詳	65	44	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		令和17年(2035年)			令和22年(2040年)			令和27年(2045年)					
		総数 人	男 人	女 人	総数 人	男 人	女 人	総数 人	男 人	女 人			
総数		61,748	30,910	30,838	59,742	29,966	29,776	57,549	28,931	28,618			
年齢階級別	0～4	2,089	1,071	1,018	2,009	1,030	979	1,898	973	925			
	5～9	2,139	1,095	1,044	2,058	1,054	1,004	1,983	1,016	967			
	10～14	2,227	1,133	1,094	2,139	1,088	1,051	2,060	1,048	1,012			
	15～19	2,265	1,155	1,110	2,054	1,047	1,007	1,972	1,005	967			
	20～24	2,290	1,155	1,135	2,142	1,091	1,051	1,939	988	951			
	25～29	3,193	1,758	1,435	2,921	1,595	1,326	2,750	1,508	1,242			
	30～34	3,302	1,765	1,537	3,096	1,654	1,442	2,845	1,513	1,332			
	35～39	3,478	1,875	1,603	3,257	1,745	1,512	3,064	1,640	1,424			
	40～44	3,305	1,793	1,512	3,447	1,873	1,574	3,233	1,746	1,487			
	45～49	3,227	1,769	1,458	3,257	1,768	1,489	3,396	1,845	1,551			
	50～54	3,732	1,964	1,768	3,184	1,739	1,445	3,212	1,735	1,477			
	55～59	4,267	2,255	2,012	3,666	1,898	1,768	3,130	1,683	1,447			
	60～64	4,882	2,495	2,387	4,211	2,232	1,979	3,621	1,883	1,738			
	65～69	4,443	2,244	2,199	4,776	2,439	2,337	4,118	2,180	1,938			
	70～74	3,717	1,873	1,844	4,280	2,130	2,150	4,606	2,318	2,288			
	75～79	3,357	1,611	1,746	3,561	1,738	1,823	4,105	1,981	2,124			
	80～84	3,458	1,535	1,923	3,084	1,395	1,689	3,286	1,514	1,772			
	85～89	3,322	1,341	1,981	2,856	1,172	1,684	2,579	1,082	1,497			
90歳以上	3,055	1,023	2,032	3,744	1,278	2,466	3,752	1,273	2,479				
年齢不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

資料：日本の地域別将来推計人口（H30推計）〔国立社会保障・人口問題研究所〕年齢別男女別将来人口

C0104 人口増減

行政区域の平成8年から令和2年までの人口増減数は2,492人増となっている。

自然動態については、平成13年から平成22年にかけて自然増の増加幅が小さくなり、平成23年から平成27年の間に初めて出生数が死亡者数を下回った。それ以降は一貫して自然減の状態が続いている。一方、社会動態については平成18年から平成22年までの間に社会減に転じた。その後は増減を繰り返しているものの、増減の幅は縮小傾向にある。

表1-5 人口増減

	平成8年 ～ 平成12年 人	平成13年 ～ 平成17年 人	平成18年 ～ 平成22年 人	平成23年 ～ 平成27年 人	平成28年 ～ 令和2年 人
自然増減	1,030	885	250	△ 534	△ 991
出生数	3,296	3,315	3,100	2,846	2,664
死亡者数	2,266	2,430	2,850	3,380	3,655
社会増減	2,397	123	△ 902	△ 141	213
転入者数	19,879	19,978	15,769	13,538	13,425
転出者数	17,482	19,855	16,671	13,679	13,212
(その他増減)	72	157	81	△ 198	50
人口増減計	3,499	1,165	△ 571	△ 873	△ 728

資料：令和3年統計しおじり 人口動態の推移

- ※ 平成12, 17, 22, 27、令和2年国勢調査を基準として推計
- ※ その他増減は、職権による消除・修正や国籍取得・帰化等
- ※ 各年の数値は当該年を含む5年間の合計値を記載

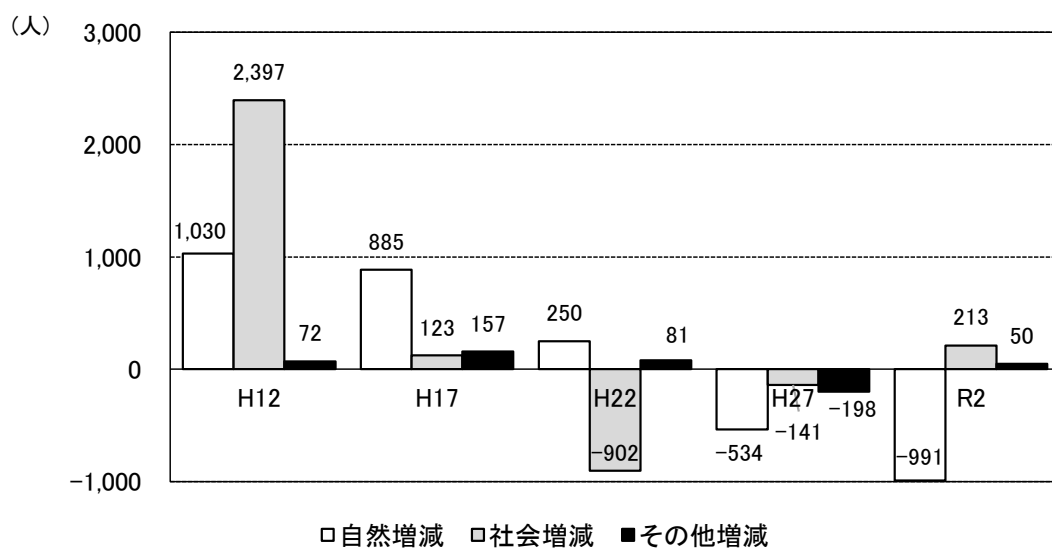


図 1-8 人口動態の推移 (行政区)

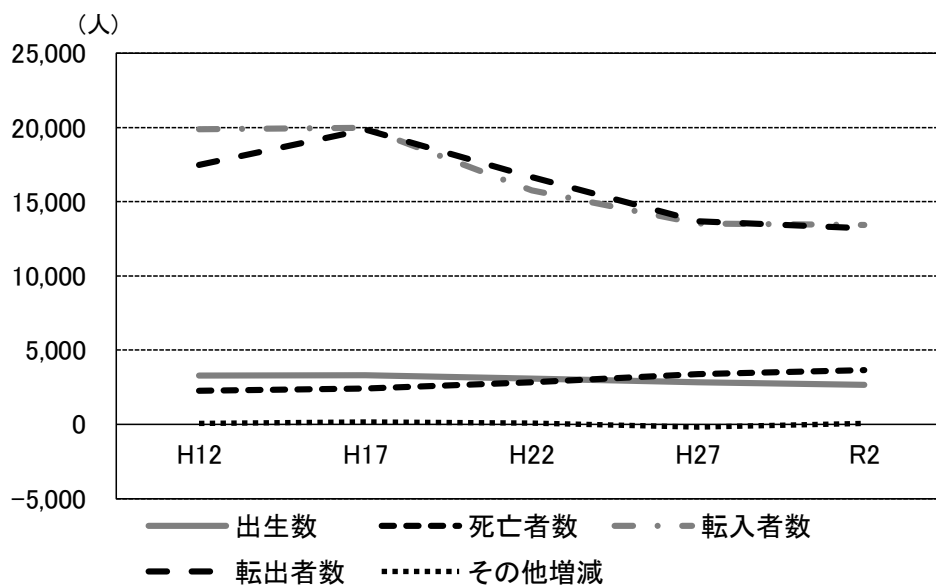


図 1-9 人口動態の推移内訳 (行政区)

C0105 通勤・通学移動

合併後の平成17年以降の就業者による流出・流入人口をみると、常住地による就業者数及び従業地による就業者数は減少が続いているのに対し、流出者数・流入者数は令和2年まで増加し続けている。令和2年の流出率は38.1%、流入率は37.2%と、流出が流入をやや上回っている。

また、平成17年と令和2年の流出先・流入先を市町村別に比較すると、流出先・流入先ともに第1位は松本市となっており、流出者数は300人減少、流入者数は1,239人増加している。

表1-6 通勤による流入・流出

	常住地による 就業者数(人)	流 出		従業地による 就業者数(人)	流 入		従/常 就業者 比率(%)
		就業者数(人)	流出率(%)		就業者数(人)	流入率(%)	
平成12年(旧塩尻市)	35,415	12,005	33.9	34,314	10,904	31.8	96.9
平成12年(旧檜川村)	2,006	856	42.7	1,441	291	20.2	71.8
平成17年	37,115	13,211	35.6	35,671	11,767	33.0	96.1
平成22年	35,770	13,288	37.1	35,604	12,792	35.9	99.5
平成27年	35,371	13,325	37.7	34,996	12,894	36.8	98.9
令和2年	35,363	13,468	38.1	34,999	13,036	37.2	99.0

資料：平成12, 17, 22, 27年、令和2年国勢調査 常住地・従業地における就業・通学者数

表1-7 通勤先別の通勤移動

	流 出 先								
	流出率第1位			流出率第2位			流出率第3位		
	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)
平成12年(旧塩尻市)	松本市	8,215	23.2	岡谷市	813	2.3	諏訪市	504	1.4
平成12年(旧檜川村)	塩尻市	341	17.0	松本市	262	13.1	木曾福島町	90	4.5
平成17年	松本市	8,935	24.1	岡谷市	823	2.2	安曇野市	625	1.7
平成22年	松本市	8,826	24.7	岡谷市	854	2.4	安曇野市	493	1.4
平成27年	松本市	8,645	24.4	岡谷市	873	2.5	安曇野市	705	2.0
令和2年	松本市	8,635	24.4	岡谷市	925	2.6	安曇野市	607	1.7

	流 出 先					
	流出率第4位			流出率第5位		
	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)
平成12年(旧塩尻市)	豊科町	281	0.8	辰野町	224	0.6
平成12年(旧檜川村)	木祖村	48	2.4	日義村	22	1.1
平成17年	諏訪市	521	1.4	辰野町	239	0.6
平成22年	諏訪市	463	1.3	山形村	252	0.7
平成27年	諏訪市	409	1.2	山形村	322	0.9
令和2年	諏訪市	488	1.4	山形村	371	1.0

	流 入 先								
	流入率第1位			流入率第2位			流入率第3位		
	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)
平成12年(旧塩尻市)	松本市	5,657	16.5	岡谷市	567	1.7	辰野町	454	1.3
平成12年(旧檜川村)	塩尻市	103	7.1	木祖村	59	4.1	日義村	26	1.8
平成17年	松本市	6,130	17.2	安曇野市	1,079	3.0	岡谷市	637	1.8
平成22年	松本市	7,121	20.0	安曇野市	1,161	3.3	岡谷市	689	1.9
平成27年	松本市	7,030	20.1	安曇野市	1,208	3.5	岡谷市	718	2.1
令和2年	松本市	7,369	21.1	安曇野市	1,151	3.3	岡谷市	782	2.2

	流 入 先					
	流入率第4位			流入率第5位		
	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)
平成12年(旧塩尻市)	朝日村	401	1.2	波田町	350	1.0
平成12年(旧檜川村)	松本市	21	1.5	木曾福島町	18	1.2
平成17年	辰野町	491	1.4	朝日村	403	1.1
平成22年	諏訪市	482	1.4	辰野町	462	1.3
平成27年	諏訪市	501	1.4	山形村	435	1.2
令和2年	諏訪市	466	1.3	朝日村	425	1.2

資料：平成12, 17, 22, 27年、令和2年国勢調査 常住地・従業地における就業者数

- 注1. 常住地による就業者数とは、当該都市に常住する（夜間人口ベース）就業者を言う。
 従業地による就業者数とは、当該都市に従業する（昼間人口ベース）就業者を言う。
- 注2. 流出率＝流出就業者数／常住地による就業者数×100
 流入率＝流入就業者数／従業地による就業者数×100
- 注3. (従/常) 就業者比率＝従業地による就業者数／常住地による就業者数×100

表 1-8 通学による流入・流出

	常住地による 通学者数(人)	流 出		通学地による 通学者数(人)	流 入		従/常 通学者 比率(%)
		通学者数(人)	流出率(%)		通学者数(人)	流入率(%)	
平成12年(旧塩尻市)	3,574	1,590	44.5	3,318	1,334	40.2	92.8
平成12年(旧檜川村)	210	173	82.4	38	1	2.6	18.1
平成17年	3,469	1,604	46.2	3,126	1,261	40.3	90.1
平成22年	3,313	1,721	51.9	2,965	1,332	44.9	89.5
平成27年	3,537	1,776	50.2	3,059	1,297	42.4	86.5
令和2年	3,336	1,713	51.3	2,883	1,254	43.5	86.4

資料：平成12, 17, 22, 27年、令和2年国勢調査 常住地・従業地における就業・通学者数

表 1-9 通学先別の通勤移動

	流 出 先								
	流出率第1位			流出率第2位			流出率第3位		
	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)
平成12年(旧塩尻市)	松本市	1,176	32.9	岡谷市	143	4.0	茅野市	75	2.1
平成12年(旧檜川村)	松本市	83	39.5	木曾福島町	49	23.3	塩尻市	34	16.2
平成17年	松本市	1,144	33.0	岡谷市	136	3.9	茅野市	74	2.1
平成22年	松本市	1,133	34.2	岡谷市	177	5.3	諏訪市	87	2.6
平成27年	松本市	1,161	32.8	諏訪市	131	3.7	岡谷市	111	3.1
令和2年	松本市	1,051	31.5	諏訪市	137	4.1	岡谷市	114	3.4

	流 出 先					
	流出率第4位			流出率第5位		
	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)	市町村名	流出者数(人)	流出率(%)
平成12年(旧塩尻市)	諏訪市	36	1.0	木曾福島町	23	0.6
平成12年(旧檜川村)	その他の市町村	5	2.4	その他の都道府県	2	1.0
平成17年	諏訪市	49	1.4	長野市	40	1.2
平成22年	茅野市	86	2.6	木曾町	39	1.2
平成27年	茅野市	57	1.6	安曇野市	36	1.0
令和2年	茅野市	53	1.6	長野市	41	1.2

	流 入 先								
	流入率第1位			流入率第2位			流入率第3位		
	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)
平成12年(旧塩尻市)	松本市	688	20.7	山形村	69	2.1	波田町	58	1.7
平成12年(旧檜川村)	塩尻市	1	2.6	-	-	-	-	-	
平成17年	松本市	659	21.1	安曇野市	112	3.6	辰野町	62	2.0
平成22年	松本市	766	25.8	安曇野市	124	4.2	山形村	72	2.4
平成27年	松本市	706	23.1	安曇野市	129	4.2	岡谷市	66	2.2
令和2年	松本市	720	25.0	安曇野市	92	3.2	岡谷市	67	2.3

	流 入 先					
	流入率第4位			流入率第5位		
	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)	市町村名	流入者数(人)	流入率(%)
平成12年(旧塩尻市)	朝日村	57	1.7	辰野町	51	1.5
平成12年(旧檜川村)	-	-	-	-	-	-
平成17年	波田町	59	1.9	山形村	56	1.8
平成22年	朝日村	60	2.0	辰野町	43	1.5
平成27年	山形村	54	1.8	朝日村	47	1.5
令和2年	山形村	48	1.7	茅野市	40	1.4

資料：平成12, 17, 22, 27年、令和2年国勢調査 常住地・通学地における通学者数

注1. 常住地による通学者数とは、当該都市に常住する(夜間人口ベース)通学者を言う。

通学地による通学者数とは、当該都市に通学する(昼間人口ベース)通学者を言う。

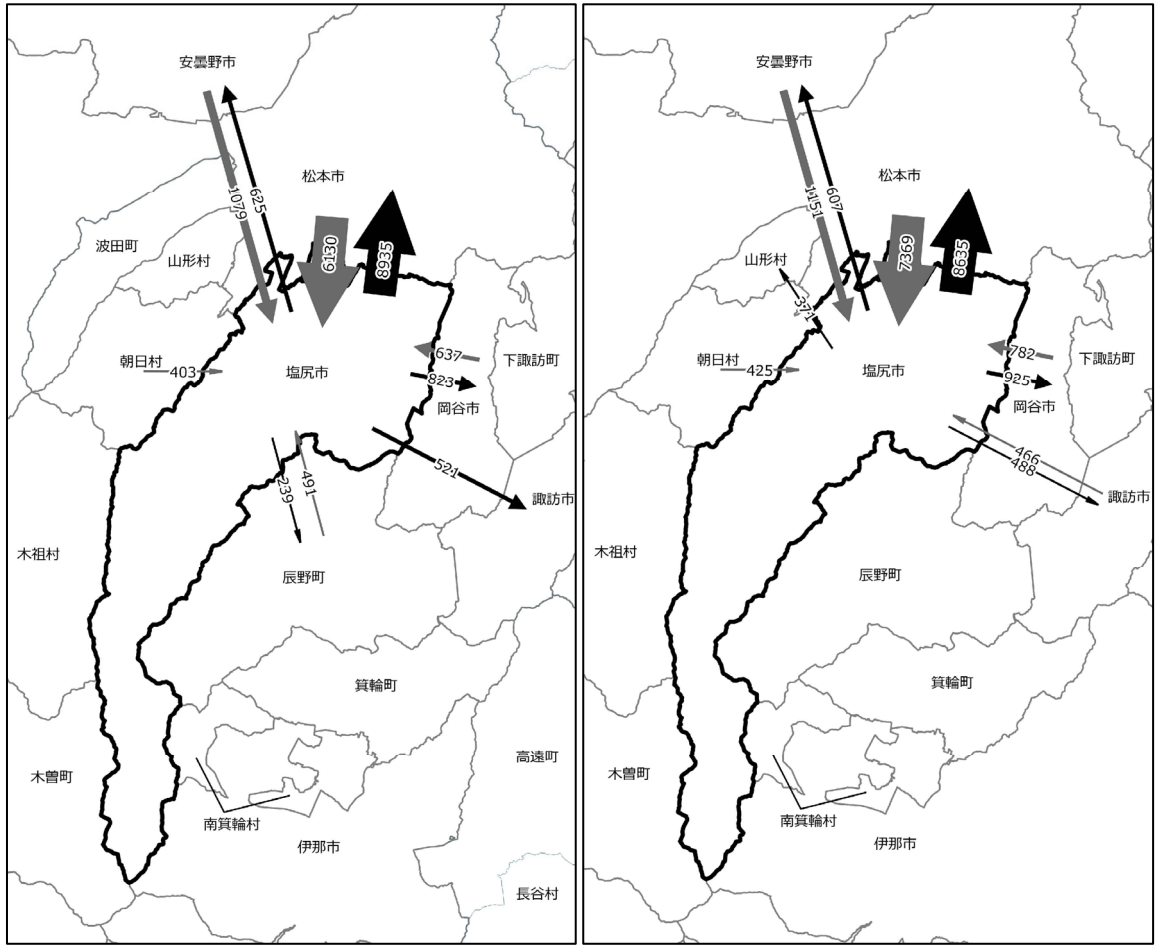
注2. 流出率=流出通学者数/常住地による通学者数×100

流入率=流入通学者数/通学地による通学者数×100

注3. (従/常)通学者比率=通学地による通学者数/常住地による通学者数×100

<平成 17 年>

<令和 2 年>



凡例

- 0~500人
 - 500~1000人
 - 1000~2000人
 - 2000~4000人
 - 4000人以上
- ➡ 流出口
➠ 流入人口

5 0 5 10 15km



注) 各年の第1位から第5位までを表示。

図 1-10 通勤による流出・流入人口